



第一回日米伯協議（結果概要）

令和2年11月10日
外務省中南米局南米課

1 開催日等

日時：11月10日午前9時（現地時間：日本時間同日午後9時）から1時間半
場所：ブラジリア（ブラジル）。対面開催。

2 出席者

日本：林禎二外務省中南米局中南米局長、彦田在ブラジル大公使他
アメリカ：クラック米國務省経済成長・エネルギー・環境分野担当國務次官、チャン國務省西半球筆頭次官補他
ブラジル：ドネル外務省アジア大洋州ロシア担当副次官、サルキス外務省貿易・経済政策担当副次官他

3 開催経緯・意義

- 近年の良好な米伯関係や「戦略的グローバル・パートナーシップ」を一層強化することで一致した日伯関係（2019年には日ブラジル首脳会談を3回実施）を背景に、法の支配等の共通の価値に基づき、自由で開かれた国際秩序の構築を目指し、これら三カ国が継続的に対話を行うための枠組みの立ち上げが調整されてきた。
- 本件協議では、地域情勢、経済的繁栄、民主的ガバナンスを柱として議論を行った。

4 議論の概要

- 自由、人権、民主主義及び法の支配という共通の価値に基づいた三か国の伝統的な絆を基礎とし、三か国は、各国が主権及び独立国家として共存しながら繁栄する自由で開かれた国際秩序を希求することを確認。
- 「ポスト・コロナ」への新たな道筋を形成するために協働するコミットメントを再確認。
- ①地域情勢に係る政策調整の強化、②共有された経済的繁栄の追求及び③民主的ガバナンスの強化という日米ブラジル協議の基礎となる3本柱を確認。
 - ① 地域情勢に係る政策調整の強化：地域の平和及び安定は経済的繁栄と民主的ガバナンスの基礎となるとの認識を共有した上で、日米ブラジル協議及び既存の二国間対話を活用し、我々の地域が、ルールに基づく秩序の下で、自由で開かれたものであり続けることを確保するための取組を継続することを確認。
 - ② 共有された経済的繁栄の追求：それぞれの地域において、民主主義及び経済を主導している共通の価値を共有するパートナーとして経済的繁栄を追求することを確認し、ビジネス環境の強化、外国投資の拡大、地域間のコネクティビティ促進やサイバーセキュリティの強化等に取り組むことを確認。
 - ③ 民主的ガバナンスの強化：民主主義とグッド・ガバナンスは、経済的繁栄と成長、人間の尊厳の尊重、そして危機において最も脆弱な人々の保護を確保する上で必要不可欠な土台であることを確認し、民主的ガバナンスを強化する対話及び協力を強化することを確認。